

海賊対処の第20次派遣航空隊が無事任務を終え帰国する

～ 派遣海賊対処行動航空隊（第20次隊）帰国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第20次派遣航空隊が、本年7月27日に日本を発って以来、約4か月ぶりとなる2015年11月13日に鹿屋基地(鹿児島県)へ帰国した。

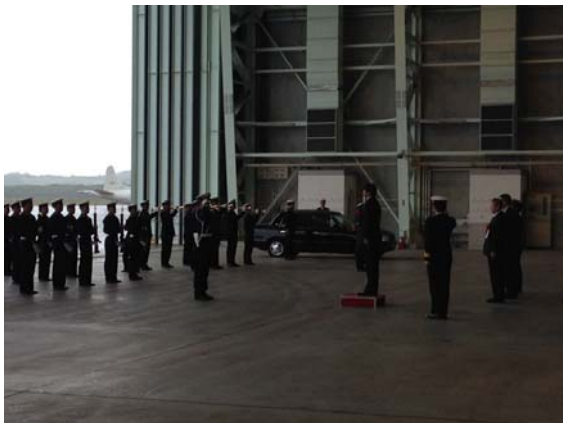
同航空隊は、北原浩一司令の下、2機のP-3C哨戒機と約70名の隊員により編成され、アデン湾海域の哨戒活動や情報提供等を実施した。

同基地で行われた出国行事では、藤丸敏防衛大臣政務官及び市田 章第1航空群司令より、派遣隊への訓示などが述べられた。

当協会からは、日本郵船(株)赤峯浩一専務経営委員、ユナイテッド海運(株)三浦和也取締役常務執行役員他が出席し、派遣部隊にお礼を申し上げるなど、派遣部隊の方々のご苦勞に対しあらためて感謝の意を表した。

(海務部 小山)

鹿屋帰国行事



栄誉礼を受ける藤丸防衛大臣政務官



着陸するP3-C哨戒機



帰国式会場へ到着したP3-C哨戒機2機 1/2-



行事参列者に出迎えられる派遣隊員



行事会場へ行進する派遣隊員



北原司令ほか派遣隊員の方々に訓示を述べる藤丸防衛大臣政務官



派遣隊員へ訓示を述べる市田第1航空群司令



当協会を代表して隊員の方々に感謝の意を申し述べる日本郵船(株) 赤峯専務経営委員



横断幕を持ち、派遣隊員を出迎える日本船主協会関係者